

-----

10番 大西慶治議員

-----

議長（中西 康雄君）

通告順3番 大西慶治議員の発言を許可します。

10番（大西 慶治君）

10番 大西慶治であります。

通告に従いまして質問をさせていただきます。

まず、町財政の現状（わかりやすい予算書）と健全化計画についてということで、質問をさせていただきます。今回もテレビ放映されるということでございますので、テレビをご覧の方々にはできましたらこの5月に配布されましたわかりやすい予算書を参考にさせていただきたいと、そのように思います。ただ予算につきましては日々動いておりますし、質問通告した時点と現在では幾分変わっている部分がありますが、当質問は当初予算を念頭に質問をさせていただきます。

今年度一般会計の当初予算は、昨年当初の59億6,300万円と比べて26.3%増額の75億3,000万円となります。その予算の中身は「美しい環境のまちづくり」というような項目で生活排水路整備事業ほか、また産業振興と交流のまちづくりの項目でふるさと農道整備等、またいきいき健康福祉のまちづくりの項目では総合がん検診等、教育文化の振興まちづくりでの項目では図書館の充実等、また安全・安心のまちづくりでは避難所用の備品購入等の5つの柱と、その他で滞納整理のシステム導入などで予算を付けられております。

大台町の人口の倍あります同じ多気郡内の明和町の20年度当初予算が、一般会計で62億4,200万円でありますから、当町の今年度予算がいかに大きいかということがわかるかと思います。しかしながら、いかに財政難であってもどうしてもやらなければいけないこと、特に町長の施政方針の中でも特に触れております三瀬谷地区統合保育所建設に5億2,000万円、三瀬谷小学校屋内運動場及びプール改築工事に3億8,000万円、また防災無線統合整備事業に6億800万円の予算が今回予算が大きく膨らんだ原因であると思われまます。

私は20年度当初予算には賛成討論をして賛成をいたしました。しかし、今後水道事業にも取り組んでいかなければならない現状の中で、合併時1万1,198人であった人口が、この5月30日現在でさき

ほど調べてきましたら1万856人と、2年と5ヶ月で342人も減少をしております。ちなみに今年の1月とこの5月の対比では88名が減少しております。これは2日に1人以上の方々が減っているというふうな計算になるかと思えます。

また、高齢化率も34%とこれは異常に高く、地域によっては限界集落のところも出てきております。町税を含む自主財源率は23.55%、依存財源が76.45%と、いわゆる一般に言う3割自治を大きく下回っております。経常収支比率が高く、財政調整基金が19年度末で8億6,200万円あったものが、この20年度当初予算の編成後には4億1,300万円となっております。現在5億2,282万5,000円、また年度末には10億円弱の基金になるだろうというふうな説明も受けたように思いますが、大変財政調整基金も減額をしております。

19年度末の借入れ金額というのは121億9,000万円、そのうち一般会計分で74億3,000万円、総額では町民1人当たりが112万3,000円の金額になると、これはわかりやすい予算書の中にも触れられております。当町の今後の財政状況の見通し、平成19年から23年度というのがありますけれども、これはインターネットによって公表されておりますものを見ますと、実質公債比率も今後平成23年度まで15%を下回らない。地方交付税も一般算定を含め町長いつも厳しい見通しの話をされておられますけれども、20年度見通しでは31億2,500万円というのが出ておりますけれども今年度当初予算では28億円が見込まれております。3億2,500万円ほど減の予算をみてるわけでございますけれども、施政方針の中で昨年から取り組んでまいりました集中改革プランの推進により、一層の行政のスリム化と効率化、効果的な行政運営に努める一方、町民の皆様が切望する必要で不可欠な事業については、長期的な観点から選択と重点化を図りながら積極的に対応し、町民の皆様の付託に応えていくというふうにあります。

この集中改革プランの中に負担金補助金の見直しのポイントと基本的なルール、また大台町定員管理適正化計画というのがあります。それによって努力してもらってることも私は理解をしております。しかし、職員は減らすだけではなく、将来年齢構成に歪みの生じないようにしなければなりません。これも考えておられるようでございますけれども、近ごろよくテレビで話題になっております、大阪府は橋本知事になってから危機的な財政に英断を示しております。甘えは許されない。当町もそういう状況であろうかと思えます。当町も負担金補助及び交付金、これはわかりやすい予算書の一番最後のほうに書かれておりますけれども、削減というのは非常に難しいものもあるかと思えますけれども、すべては将来を見据えた財政、人材の密なる計画と住民の方々への簡易水道事業も含めて、さらなる説明責任が必要であろうかと思えます。

また、この説明につきましては地域に行つての懇談会と、町政懇談会というようなものも予定され

て、さきほども表をいただいたわけなんでございますけ、ますますこういうことについての説明というものが、非常に必要になってこようかと思えます。以上、答弁を求めます。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

それでは町の財政の現状と健全化計画につきまして、お答えをいたします。

議員ご指摘のとおり本年度の当初の予算額は、一般会計 75 億 3,000 万円で近隣の明和町と比べましても、また標準財政規模、これは標準的な行政活動を行うために必要な経常的一般財源の総量を示す数字でありますけれども、大台町では約 40 億円ということでございますがその側面からも平年を大きく上回っております。議員よりさきほど示されましたように、三瀬谷地区の統合保育所なり、三瀬谷小学校の屋内運動場やプールの改築工事、あるいは防災無線の統合整備工事で、合わせて 15 億円強の緊急的な課題が本年度に集中をしたところによるものでございます。

今後の財政状況でございますが三位一体改革、1 つには地方交付税の改革、1 つには国庫補助金の改革と税源移譲ということでございますが、これによる交付税の削減も地域再生対策費の算定項目が追加をされまして、20 年度に歯止めがかかったところでございます。しかし、人口が減少する中で、これまでの経済成長は望むべくもなく、地方交付税が増えていくという財政計画を描くことは到底できない状況であります。合併による手厚い国の政策的保護の切れる平成 28 年度までに、集中改革プラン等を通し、財政の健全化に努めてまいらねばならないと考えております。

なお、地方交付税の本年度見込みでございますが、現在のところ 31 億 4,000 万円と推定をいたしております。予算との差につきましては額の確定後、財政調整基金繰入金の減額を行いたいと考えております。

合併後、総合計画を策定し、新しまちづくりを推進していくための財源の確保には、国・県制度の活用のほか、ご指摘のとおり集中改革プランの中の定員管理が一番大きなウエートを占めてくると考えております。現在の一般事務職員の年齢構成の中で、20 歳代の占める割合は全体の 14% と少ない状

況にあります。また退職者におきましては平成 25 年 3 月末までの 5 年間に 13 名の職員が、平成 30 年 3 月末の 10 年間に合計で 36 名の職員が定年により退職することになります。

このような状況の中、組織の再編を考えながら組織の活性化と職員数の削減を図るため、勧奨退職制度の活用や積極的な民間委託の推進に努めるとともに、定年及び普通退職者数については職種や業務ごとにその必要性を十分に精査したうえ、退職者数の一定の割合について新陳代謝としての新規採用を行いたいと考えております。

今後は採用にあたりましては、将来にわたり年齢構成等の歪みが生じないように新卒者に加え社会人採用も視野に入れて、年度ごとの採用者数の平準化を図り、長期的な視点から将来の大台町を支える人材を計画的に採用し、育成していきたいと考えております。ということでひとつよろしくお願ひしたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君）

大西議員。

-----

10 番（大西 慶治君）

答弁をいただきました。集中改革プランに沿って今後の町財政についてしっかりやってもらえるものと、そのように思います。町長申されましたように、私は合併してから旧大台町だの、旧宮川村だのというような言葉はあまり使いたくありませんけれども、予算を見てもとかなり旧大台町のほうにウエートを、いわゆる保育園とかいろんなことでウエートを置かれておるのではないかなと、そのような気もいたしております。

いろいろ再質問を予定しておったんですけれども、1 番目の中谷議員からほとんど出まして、同じような質問をまたするという事はやはりテレビをご覧の皆さんも、ちょっと同じじゃないかと言われるようなことがあろうかと思っておりますので、そのことについての再質問はちょっと控えさせていただきたいと思っております。

それともう一つ、先月の 24 日の日でございましたけれども夕刊三重、この松阪が、松阪市が発行しているわけではないですけども、夕刊三重という新聞にこの大台町のわかりやすい予算書に関する記

事が出ております。その中では、「495、千円の冊子」というふうなタイトルで、千円単位の数字の書き方がいまだにしっかりこない、行政の資料や商売ではよく使う人もいるだろうが、ほとんどの人にとってはわかりにくいのではないかと、実際見えこなしているはずの市役所の職員、これは記事そのまままで申し訳ございません。大台町の職員のことではございません。さえ議会や委員会での説明をする際、この表記のせいで一桁二桁言い間違うのをしばしば見ている。

多気郡大台町では本年度も当初予算をわかりやすく町民らに説明する冊子を、4,300部印刷し全戸配布した。しかし、中身を読んでもやはりお決まりの、千円の連発である。大台町では合併前からこの資料に取り組んでいて、内容は年々改善されている。今年は主な経費や財源、主な概要などは載り、各事業の概要も写真やグラフ付きのわかりやすい説明で紹介されているだけにもったいない。町企画課によるとどうせつくるなら内容も詳しく、今年はページ数も前年より10ページほど増やしたという、だが冊子が分厚くなればなるほど見る意欲がなくなっていくかもしれない心配である。ついでに言えば各事業も昨年までも行われていたのか、今年度から新たに始まったものなのかなどが載っていると、少なくとも我々記者にとってはとても参考になる。せっかく税金を使って作成しているだけに、これもよりも改善されるよう期待したいと、このようにあります。

一般の方々に、この千円というのがわかりにくいのではないかとというふうなことだと思います。私もときどきというよりしゅっちゅう戸惑いまして、下に を付けて数え直すというふうなこともございます。このことについての一般の方々にいく部分についてのわかりやすい予算書のこの記述について、改善をしていただく余地があるのかなのかについて、お伺いをいたします。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

我々これいつも予算の設定がですね、その千円単位でやってますんで、それでずっとこれまでもきております。そういうことで町民の皆様もその表記には慣れておられるんじゃないかなと、こう思っているところです。新聞記者さんもっと勉強してもうたらええだけのことであるんじゃないかなと思うて

おるんですが、今年の町政懇談会ありますんでね、皆の会場というわけにいかんと思いますが、ところどころでそういったような表記がわかりにくいかどうか、そういったこと一遍聞いてみようかなと思うんですが、円単位にするとまだ3つ付きますんでね、1億836万3,000円ということになると、また丸3つあって、やっぱり一、十、百、千万と勘定せんならん、これがまた面倒くさいようてことがありますんで、どれがいいのかちょっとよくわかりませんが、一度町民の皆さんのそれこそ声をですな、聞いてみたいなと思いますんで、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君）

大西議員。

-----

10番（大西 慶治君）

あくまでも新聞に載っていたものを丸読みさせていただきました。夕刊三重につきましては多分この大台町では目に入る人がそんなに多くはないんじゃないかなと、そのように思いますけれども、一応こういう意見もあるということは、ひとつご理解をいただいております。

議長、2問目に移らせていただきます。

2問目でありますけれども、工事入札等の予定価格は適正かということで通告をさせていただきました。公共工事の入札で予定価格を大幅に下回る低入札が増えておるように思います。公共事業の減少による競争の激化によるのが起因するところがあると思われます。行政といたしましては低価格での落札というものは、これは有り難いことであるには違いがありません。しかし、それが行き過ぎれば手抜き工事や、それから労働条件に悪影響を招く恐れがございます。いつも入札結果は報告をいただいておりますけれども、予定価格との差が当町でも近ごろ大きくなったと思います。

昨年度は総合評価方式での一般競争入札もあり、また今年は保育園がそういった総合評価方式での入札というふうなことを伺っておりますけれども、この4月25日の入札会では、予定価格に対して29.9%と、また66.67%の落札がありました。この安価な落札が必ずしもさきほど言いましたように、良いとは私は言い切れなないと思います。その予定価格そのものが適正であったのかということも疑問に思うところであります。

今回の29.9%の工事では、これは工事ではなく測量設計でありますけれども、この岩井の現場も見させていただきました。岩井地区への避難所へのルートであり、必要なものであると認識をしております。また66.67%での落札につきましてはプールや屋根の塗装工事であります。この落札の価格ですけれども、予定価格をこれ出ております予定価格を3で割って2で掛けるときっちり落とした金額になると、いわゆる3分の2落札になっておりますが、これが近ごろ増えておるように思います。これが仮にもっと高い金額で落札をされたというふうに報告を受けても、何の疑いもなくそうかと思ったかと思えますけれども、これは業者による赤字覚悟の落札なのかも、それがいろいろ事情があるのか、また何社の競争であったのかということについてお伺いをしたいと思えます。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

それでは2問目の工事入札等の予定価格について、お答えをいたします。

この予定価格の設定につきましては、平成13年3月9日に閣議決定をされました公共工事の入札及び適正化を図るための措置に関する指針におきまして、設計書金額から一部を正当な理由なく控除する、いわゆる分切りについては公共工事の品質や工事の安全確保に支障をきたすとともに、建設業の健全な発達を阻害する恐れがあることから、厳に慎むものとされておまして、関係省庁から通達が発出されております。

これを踏まえまして、当町においては国土交通省等の省庁が示す分係り、市場価格を反映し、毎月改定される建設物価版、資材業者等からの見積に基づき、適正な方法により積算された設計価格を予定価格としているところでございますので、予定価格の設定方法につきましては、適正であったものと認識をいたしております。

次に、最低制限価格の導入につきましては、建設工事におきましては従来より導入しているところでございますが、昨年来、低価格入札いわゆるダンピング受注が増加してきましたことから、本年4月から予定価格が500万円を超える建設工事において、変動型最低制限価格制度を新たに試行的に導

入し、品質の確保を図る措置を講じているところでございます。

また、測量コンサルにおきましては、これまで最低制限価格を導入しておりませんでした。4月25日の入札結果及び近年の入札結果の状況に鑑み、適正な品質の確保を行うことも目的に、5月12日をもって最低制限価格を導入したところでございます。

次に、4月25日に執行しました入札会での入札参加者数でございますが、落札率が29.9%となりました町道まなご線測量設計業務委託につきましては12者でございます。また66.67%となりました日進保育所のプール屋根パラペット面の塗装工事につきましては11社でございます。また低価格での落札に至った入札社側の事情につきましては、あくまでも推察するものですが、当町をはじめ多くの地方公共団体において公共事業に関する予算が減少する状況で、受注競争がより一層厳しくなってきたものではないかと思う次第です。

最後となりますが、今後の公共工事の発注に際しましては、今回のご質問にありました適正な予定価格の設定及び最低制限価格をはじめ、さまざまな入札契約程度を活用しながら、公正かつ適正な競争を促進しつつ、公共工事の品質の確保を行い、建設工事のエンドユーザーとなる町民の方々に対し、最も価値の高いサービスを図っていけるよう努めてまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。どうぞよろしく申し上げます。

-----

議長（中西 康雄君）

大西議員。

-----

10番（大西 慶治君）

説明では予定価格は適正であるというふうにお伺いいたしました。私もそうであろうと、そのように思います。

また、ちょっと余談でありますけれども、これも夕刊三重でありますけれども、5月の12日に、これ松阪市が最低制限の改善を求めると、これは85%のやつをもっと下げたらどうかというふうな記事が出ておりました。またこれは兵庫県でありますけれども350万円と書くところを350円で落札したと、これも最低価格を設定しておれば、こういう業者のミスも防げたんじゃないかというふうなこと

も書いてございます。

また、5月12日以降については最低制限価格を設けているものもあるというふうな答弁をいただいたかと思えます。安く、良くしていただくということについては、私は何の文句もございません。本当にただ安くてもいいと思うんですけれども、そのことがそのでき上がりに影響を及ぼせば、これもまたいけないかと思えます。今後そういったことも十分気をつけながらというふうな答弁であったかと思えます。

そういうことで理解をさせていただきまして、議長、次の質問に移らせていただきます。

最後の質問でありますけれども、ちょっと題名といたしまして、ちょっと突飛な題名ではないかなと思えます。JR滝原駅は大台町ということでございますけれども、皆様方にとりましては、そんなことは当たり前やないかというふうなことでございますけれども、実はこの5月17日に名古屋テレビで放送されましたタレントのウド鈴木さんという、ウドちゃんで愛称のあるお笑いタレントさんでございますけれども、これが地方を回り紹介している番組、いわゆる「ウドちゃんの旅してごめん」という番組であります。放送をご覧になられた方もおられようかと思えますけれども、奥伊勢を紹介した番組であります。

一番最初に滝原駅からこの番組は出発をいたしました。滝原駅から出発をして数ヶ所を回られたわけなんですけれども、その冒頭で滝原の駅前でここは大紀町というふうに紹介をされておりました。これは他所から来られた方は全くそれはそう思うのが当たり前でございます、滝原の駅前には縦3m、横6m以上もある大きな大紀町の観光案内板が出ております。そこに、「ようこそ悠久の里大宮へ」というふうな大きな看板がございます。駅名が滝原駅で、そして近くに滝原神宮があります。ということからして、滝原駅周辺が大紀町であるということ、他所の人が思うのはこれは全く致し方のない現実であろうかと思えます。

しかしながら、これは紛れもなく多気郡大台町でございます。今、熊野古道のブームでございます、三瀬坂峠から滝原神宮を経て、そして滝原駅から乗車していく、また反対に滝原駅で下車をして三瀬坂峠を越えるという人が増えてまいりました。ときどき私もお話をさせていただく場合もございます。私は大台町のふるさと案内人の会の語り部で、小さなボランティアをしておりますけれども、その私の地元が他の町と間違われるようなことでは、私面目が立ちません。町内の方でも中には滝原駅周辺は旧大宮町と思っておられる方も少ないと思えますけれども、いられるのではないかと思えます。多くの方々に誤解を招いておりますので、ここは大台町であるというふうなPRの看板の設置を望むものであります。ご答弁を求めます。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

それでは3問目のJRの滝原駅は大台町ということでございまして、そのご指摘のとおり5月17日の名古屋テレビの「ウド旅」で、レポーターが滝原駅前を大紀町と紹介をしていたそうであります。滝原駅に降り立ちますと、その前の広場にありますが観光案内看板が最初に目に入ります。また大台町地内にありながら、滝原駅という駅名が一層大紀町にある駅というイメージを与えているところでもあります。

熊野古道のブームによりまして、JR線を利用される旅行者の方も増加傾向にありますので、18年度は三瀬谷駅から北畠史跡、三瀬の渡し等への周遊コースを、19年度は栢原駅から子ども王国、浅間山を抜ける周遊コースと案内看板等を整備してきたところでございます。また19年12月から大台町、大紀町、多気町の3町で管内JR紀勢線の各駅を起点としたウォーキングコースの整備について検討してまいりました。駅ごとの周遊マップの作成や、駅内でのPR用のボックスの整備等共通したコンセプトにより進めているところでございます。また、今年度は玉城町から紀州に続く熊野古道伊勢路の案内看板等について、県が整備を行う予定でございます。

このように各種の事業を導入し、町内の観光施設の整備を着々と進めているところでございますが、滝原駅周辺につきましては同様の計画はありますものの、まだ未整備の状況であります。3町で作成しました周遊マップは滝原駅を拠点としたものでもございますので、今後、周遊コース並びに駅前の案内看板等について、大紀町と協議を進めてまいりたいと考えております。また滝原駅は大台町ということを知らせるために、「ここは大台町」という木ちゅう看板を至急設置するよう指示いたしましたので、設置場所等につきましてアドバイスをいただきますようお願いを申し上げます、答弁とさせていただきます。よろしく申し上げます。

-----

議長（中西 康雄君）

大西議員。

---

10 番（大西 慶治君）

早速、「ここは大台町」という看板を立てていただくというふうなことで少し安心をいたしました。あの番組のあとですね、実はいろんな方からいわゆる大ヶ所の方なんですけれども、実は駅前の西フアスナーさんというところへ向いて立ち寄りまして、多くの従業員の方とお話をされた。その中でも大紀町には美人が多いんやなというふうな話をしておられました。そういう関係で多くの方がこの大ヶ所の方、滝広の方は番組を見ておられまして、その中で、「大西さんあんた何しとんのやな」と「ここは大台町なんやんな」というふうなご指摘を受けました。

そのことによりまして、私は家内がパーマ屋しておりますので、そういうふうな話が出まして、終いに夫婦喧嘩になるというふうなことまで起っておりまして、ひとつ早いめにですね、そういった看板を付けていただきたいと思います。

また、この大ヶ所、滝広というところはほとんどの方、大台町の方はご存じありませんけれども、非常に風光明媚なところでありまして、一部はこれは寢覚の床かというほど立派な非常に素晴らしい景色のところもございます。またいろいろと歴史のあるところでもございます。新しい看板、ここは大台町というのとはともかく別にいたしまして、新しい看板にはそういったものもひとつ記入をしていただきますようお願いをしたいと思います。再度ご答弁をお願いします。

---

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

---

町長（尾上 武義君）

議員さんのお話をこう今お伺いしておって、当時滝原駅と付いたときには、先だって付いた大宮大

台インターどころの名称の騒ぎやなかったんやろかなと、いろいろこう思いながらですね、聞かせてもってあったんですが、確かに滝広地内からあの大内山川を眺める景色が非常にいいところがありますね。よく宣伝でコマーシャルなんかでは宮川のことはたくさん言うのですが、大内山のことは大台町側としては取り上げないんですね。ほとんど大紀町側で取り上げておるといふうなことなんです。が、どっこいこの大ヶ所やら滝広やらしっかりいいところがあるといふうなこと、先だって滝広地区へお邪魔したときにいろんな現地も案内していただいて、こんな素晴らしいところあんのやわというふうなところで、やはり町としてもその大台町の発信をする際には、そういうことはしっかり留意してもらわなあかんわなといふうな話で、改めて感じ入ったようなことでした。今後、十分その辺は注意をしながらですね、対応してまいりたいといふうに思っております。

また、その看板につきましてもそういったようなことはですね、載せられるのかどうか、ちょっと担当のほうには検討するように申し伝えます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

-----

議長（中西 康雄君）

大西議員。

-----

10番（大西 慶治君）

付け加えるならばですね、これは長島から大内山川、今でも梯子、梯子と言っておるところがあるんですけども、岩と岩がせってきておるところへ梯子をかけて大台町側、いわゆる滝広側へ移って、それから地蔵峠を越え、そして湯谷峠へ行って、奈良のほうでサバとかアジを持っていったと、海のない奈良でサバ寿司が発達したのは、この道のお蔭やといふうなところもございます。

そういうことも含めまして大紀町との話し合い、大台町が我を張るといふやなくして、この地域の観光ということも含めまして、ひとつ適正な看板にさせていただきたいと、そのように願ひまして、またここは大台町の看板につきましては、ひとつ早急にさせていただくということを切に願ひいたしまして、質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

-----

議長（中西 康雄君）

大西慶治議員の一般質問が終了しましたので、しばらく休憩します。

再開は2時40分といたします。

（午後 2時 25分）

---

議長（中西 康雄君）

定刻となりましたので、休憩前に引き続き、一般質問を再開をいたします。

（午後 2時 40分）